

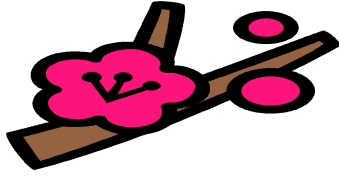
東っ子

甲府一
明るい
東小学校
2月号

節目節目に 自分を見つめて

校長室で職員会議の資料を基に二月の行事予定を再確認していただきました。その資料には三月の予定も入っていました。もう卒業式、修了式と今年度も一歩一歩終わりに近づいています。驚きと同時に、私は東小に赴任して、今まで何ができたでしょうか？そして来年度は何をしよう？と考えるこの頃です。

子どもたちは毎日表情が違いますし、日々確実に成長していきま。私は毎日確実に退化していきま。で、だんだん広がるギャップをどう埋めていくかが、私自身の大きな課題です。



児童総会・交代

今年度の児童会活動を振り返る第二回児童総会が九日(木)に行われました。

東小の伝統である「あいさつ運動」「廊下を静かに歩く・歩けお忍び忍者！」「無言清掃・忍者おそうじ大作戦」「きまりを守り笑顔を増やす・スマイルミッション」など、具体的な活動について、ぼんやり組取り組んだ数多く出された。「つなぐ」のテーマの基、多くの成果を上げることができたといえるでしょう。また、「ラストミッション・時間を守る」の取組を通じて、「スーパードラゴン」の休みの設定という、新たな伝統づくりに向けての一步を踏み出すことができた児童会に、大きな拍手を贈ります。



六年生へチャンス

児童総会が終わるといことは、六年生から五年生

へバトンパスがされたことを意味します。六年生は四月から中学生となり、新しい環境で今度はその先の進路に向かって努力をする「トリプルC」の「Chance」(チャンス)が到来します。小学校と違って中学校では、勉強と部活動が生活の中心となります。また、生徒会活動も自主的に自分たちの力で進めていくようになります。

その新しい生活である「チャンス」に向かうためにも、一番大切にしたいのが「自分の意志」です。自分の人生にとって、これからの中学三年間が一番大切な時期と言えます。今までみたいに親や先生に頼るのではなく、「自分はどうしたいか」「自分がどうしていくか」が重要になります。しっかりと考えを持つことができよう自分を見つめ、正しい判断をして生活していきましよう。

児童会選挙

四日間の選挙活動後、二十七日(金)に立合演説会・投票が行われました。立候補者は、来年度の「二



「東小」づくりを燃やして通して学級がまとまっていったことがとても素晴らしいです。

五年生へチェンジ

児童会役員選挙の終わりとともに、五年生を中心とした「六年生を送る会」に向けての取組が始まりました。五年生は四月から最上級生、東小の「顔」になるのです。この3学期は、そのための準備の期間です。新しい児童会役員を中心とした「六年生を送る会」をどのようにするか、本当に大切な取組になります。みんなできつかり話し合っ六年生の心に残る送る会にしてほしいと思います。

そのためには「トリプルC」の「Chance」(チェンジ)を思い出して下さい。今までの「自分」をしっかりと振り返り、最高学年に向かうにあたって自分のできることは何かを考え、新しい東小の「顔」に「チェンジ」してほしいと願っています。校長先生の好きなウルトラマンのような賢く、優しい最高学年に!



一年生、四年生へ チャレンジ

一月号でも書きました。今年「酉年」す。ちなみに、甲府市のシンボルの鳥は「カワセミ」です。



カワセミは川の土手や水辺にすむ留鳥(りゅうちょう)で、背羽根の美しいから「飛ぶ宝石」といわれます。「宝石の街・甲府」に一番ふさわしいと選ばれました。

飛ぶ宝石といわれるカワセミも、飛ぶためには一生懸命に美しい羽根をはばたかせています。一年生、四年生は、カワセミのように、東小でよき学校生活をおくり、一つの学年に美しくはばたけるように「トリプルC」の「Challenge」(チャレンジ)を大切にしてください。

そのためには、「やっでできないことはない! やらずにできるわけがない!」の「チャレンジ」の心をもって、何事にも取り組んでください。

平成29年2月15日（水）甲府市立東小学校だより